

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	東 書	教科書名	新編 新しい算数
-------	-----	------	----------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けられるように、問題解決的な学習活動を重視した構成になっている。また、個々に適した補充問題で定着を図ったり、わからなければ自分で学び直しをしたりすることができるようになっている。
- ・既習の内容をもとに解決の方法を考えたり、互いに伝え合ったりするなど、言語活動を積極的に取り入れて、思考力・表現力を伸ばせるように配慮されている。

2 内容について

- ・各学年の巻末に、「ふり返りコーナー」を設け、児童がいつでも必要に応じて既習の学習内容を確認したり調べたりできるようになっている。
- ・巻末の「自学自習コーナー」に、練習問題として2種類の「ほじゅうもんだい」があり、個々の習熟度に応じて、基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるように工夫されている。
- ・「考えよう 伝えよう」のコーナーを設け、問題解決的な学習の流れをわかりやすく示している。学び方がわかり、学習態度が身に付くように配慮されている。
- ・「算数マイノートをつくろう」では、例となるノートを見開きで示したり、学習感想や友達の工夫を取り上げたりして、児童が主体的に問題解決に取り組めるようになっている。

3 資料について

- ・日常の事象や生活経験を写真や絵で提示し、問題場面を把握しやすくなっている。
- ・巻末の「ふり返りコーナー」では、既習内容と本学年のまとめが詳しく記載されている。
- ・図や表は、見やすく色分けしてあり、書き込めるようになっている。

4 表記・表現について

- ・1学年から一貫して同じ色分けになっており、児童の思考の流れに配慮している。
- ・重要事項となる内容は色を変えたり色違いの枠囲みにしたりして、区別できるようになっている。

5 全体的な特徴、その他

自分に適した問題に取り組んで学力を伸ばしたり、わからなければ自分で学び直しをしたりすることができる構成になっている。また、問題解決的な学習を基本とし、既習をもとに見通しをもち、解決の方法を考えたり伝え合ったりする活動を通して、数学的な思考力・表現力を高めることができるよう配慮されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	大日本	教科書名	新版 たのしい算数
-------	-----	------	-----------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・ 数学的な思考力・表現力を育成するために、どの学年にも問題解決的な学習の仕方をわかりやすく提示している。既習を生かした自力解決や互いに伝え合い深める話し合い活動などを重視していて、自分の考えや友達の考え方を表現する力を育成できるよう配慮されている。
- ・ 学習したことを活用して取り組む課題を積極的に取り上げ、算数のよさを実感したり、学習したことを生活に生かしたり、興味を広げたりすることができるようになっている。

2 内容について

- ・ 学んだことを確かめるために、単元末に練習やまとめの問題が位置づけられている。それを行う際に、どこを見直せばよいかすぐにわかるような配慮がされ、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着が図れるように工夫されている。
- ・ 数学的な思考力・表現力を育成するために、各学年の巻頭に「算数の学び方」のページを設け、問題解決的な学習の流れをノートのと例と対応させながら具体的に示している。また、自分の考えを書き込めるようにスペースを設けている。

3 資料について

- ・ 巻末の索引「教科書に出てきた大切なことがら」には、用語や記号、きまりがまとめられている。また、計算のしかたや図のかき方が表記されているページも掲載されている。
- ・ 身近で子ども達の興味・関心が高まるような内容の資料を多く使用している。

4 表記・表現について

- ・ 算数の用語、記号、単位などは、太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。
- ・ 重要事項となる内容は、色を変えたり色違いの枠囲みにしたりして、強調されている。
- ・ 課題解決を図る発問の中で、ポイントとなる中心発問が分かるように工夫をしている。

5 全体的な特徴、その他

数学的な思考力・表現力を育成するために、問題解決をする際に、児童が自分の考えを自由に記述したり、比較・検討してよりよい方法を考えたりする学習ができるような構成になっている。また、活用力を育成するために、学習したことを具体的な生活場面で確かめたり、発展的な学習に活用したりできるように工夫されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	学 図	教科書名	みんなと学ぶ 小学校 算数
-------	-----	------	---------------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・ 基礎的・基本的な知識・技能の習熟を図り、学習したことを基にして児童が主体的に学習できるように、内容の系統性や領域間におけるつながりを重視した構成になっている。
- ・ 2～6年の巻頭には、算数でよく使う考え方が示されている。特に3年生以上は、類推・帰納・演繹の3つの考え方が示され、前学年の内容を例に挙げて、具体的な説明をすることで、これからの学習に活用できるようにしている。

2 内容について

- ・ 巻末に「サポート（より基本的な問題）」「補充問題（習熟）」「チャレンジ（活用）」を設け、子どもたちが自分の理解の段階に応じた問題が解答付で適切に準備されている。
- ・ 全国学力・学習状況調査において、課題のあった問題と類似問題を載せている。解決に至る思考プロセスを確認しながら自分で解決できるようにしている。
- ・ 4年以上の立式の根拠や倍にかかわる学習では、数直線に加えて表も同時に用いられている。4年では、テープ図と数直線と表の関連を示し、表の扱い方を丁寧に示している。

3 資料について

- ・ 巻頭に学習の進め方「さあ、算数を始めよう！」や「算数でよく使う考え方」がまとめられている。
- ・ 巻頭の「算数たんけんたい」では、各学年の学習内容に関する写真を示している。

4 表記・表現について

- ・ キャラクターが随所に登場し、児童の思考を助けるつぶやきをしている。
- ・ 定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。
- ・ 新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。

5 全体的な特徴、その他

日常生活をとらえて単元の導入をしたり、算数的活動を充実させたりするなど児童が興味・関心をもって主体的に学習が進められるように工夫されている。また、「中学校との円滑な接続が図られるよう、「中学校へのかけ橋（別冊）」が設けられている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	教 出	教科書名	小 学 算 数
-------	-----	------	---------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・「はてな」と「なるほど」の吹き出しが課題とまとめを示している。児童の問い「はてな」から「なるほど」へとつながる展開となり、児童の言葉で授業をつくるよう工夫されているので、目的意識をもって主体的に取り組むことができるように配慮されている。
- ・上巻の始めに、発達段階に応じた「算数で使いたい考え方」が明記されている。児童の言葉で数学的な考え方を示し、以降の学習で使えるように配慮されている。

2 内容について

- ・単元末に「広がる算数」が位置づけられ、児童に興味深い問題が載せられている。算数の楽しさを感じたり、学習意欲を高めたりすることができるようになっている。
- ・発表や話し合いの場面を多く取り入れている。黒板の前で発表する様子やノートに書いたことを説明する様子などを具体的に示している。
- ・比例を5、6年でスパイラルに扱っている。5年の体積の単元で言葉で定義したものを、6年では文字を使って定義し直し、さらに、性質から比例の式を導くなど、学びを深めている。

3 資料について

- ・高学年の「学びのマップ」は学年をこえて既習を振り返ることができるようになっている。
- ・巻頭に「算数で使いたい考え方」、巻末に「学習の手引き」で用具の使い方や作図の仕方、数直線の書き方等がまとめられている。

4 表記・表現について

- ・定義、公式、重要事項、計算の仕方等は、囲みや色付けで強調されている。
- ・新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。
- ・数学的な考え方やヒントが吹き出しで入れられており、児童の思考を助けている。

5 全体的な特徴、その他

巻頭の「算数ワールド」では、トピック的な題材を用いて算数の学び方を学習できる。学習を通して、算数の学習の進め方を学級で共有することができるようになっている。既習の内容を基に、根拠を持ったり説明したりする活動を重視した算数的活動を多数設け、思考力・表現力を高められるよう配慮されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	啓林館	教科書名	わくわく 算数
-------	-----	------	---------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための系統性が重視され、他教科との関連や中学校数学も意識された内容になっている。また、補充問題を通して、確実に身に付けさせたい学習内容の定着を図れるよう配慮している。
- ・知識や技能を活用するページ「学びをいかそう」を設け、身の回りの生活や他の学習と関連させ、算数のよさを実感を伴って味わうことができるよう工夫されている。

2 内容について

- ・問題解決や言語活動の場面で有効なテープ図、線分図、関係図、表、数直線等について、系統を整理し、段階を踏んでかき方を示す等、丁寧に扱っている。また、数直線の書き方については、本文や巻末に詳しく示されている。
- ・各学年の最初の方に、「わくわく算数学習」というコーナーを設け、巻頭の「学習の進め方」を実際にやってみることができるようになっている。イラストや授業中の子ども達の写真も入れ、わかりやすく構成されている。主体的に学ぶ意欲を持たせることができる。
- ・「算数資料集」の中に位置付けられている「さがしてみよう」のコーナーでは、身の回りにある算数について紹介されている。

3 資料について

- ・全学年に算数的活動や資料のための折り込みページが設けられており、切り取り用教具にはミシン目が入っている。
- ・巻末に全学年までのまとめと本学年のまとめが載っている。

4 表記・表現について

- ・問題解決場面で、教科書の右側に「きっかけ」「ふりかえり」の欄が設けられており、児童の思考の手助けとなり、問題解決を通して思考力が身に付くように工夫されている。

5 全体的な特徴、その他

第2学年以上の上巻のはじめに、学習の進め方が載っており、算数の学び方を示している。学習の流れが全学年共通のため、共通理解でき、低学年から継続的に指導することができる。読解力をつけることや知識・技能を活用する問題やページ多く設け、活用する力を身に付けることにも重点を置いている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	算 数	種目	算 数
----	-----	----	-----

発行者略称	日 文	教科書名	小学 算数
-------	-----	------	-------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・題材に関係する既習の内容を確認したり、学習後に児童の実態に応じた練習問題を設けたりする等、基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける工夫がされている。
- ・問題解決的な学習の手順を4段階「どんな問題かな」「考えよう」「学び合おう」「まとめよう」に整理し、学習過程を具体的に示す場面が充実している。どのように考え、どのように学習を進めればよいのか、問題を考える手がかりが効果的に示されている。

2 内容について

- ・数学的な表現をより深く理解できるよう、「よみとろう あらわそう」のコーナーを設け、問題文、絵や図、ことば、式を相互に関連づけたり、テープ図や数直線のかき方、よみとり方をまとめたりして、表現する能力を高められるよう工夫されている。
- ・「復習」の最後に「まちがいやすい問題」として全国学力・学習状況調査における正答率の低い問題を重点的に取り上げ、子ども達が苦手とする内容への対応が図られている。
- ・「いち・に・算活」で、知識や技能を活用する場面を多数取り入れている。

3 資料について

- ・巻末に、問題解決的な学習の進め方や、発表の仕方をまとめた「学び方ガイド」があり、切り取って常時使用することができるようになっている。

4 表記・表現について

- ・学習してわかったことや大切なことば、きまりを、定義（本マーク）と性質やきまり（！マーク）に分けて示している。
- ・新しい用語や記号、単位は太字で書かれ、読み方や書き順が記されている。

5 全体的な特徴、その他

教科書のサイズが他の教科書よりも大きい。また、見通しをもった問題解決的な学習ができるような構成になっており、数学的な思考力・表現力が育つようになっている。身近な生活場面を題材にしたり、学習した内容を生活や学習に生かす活動を多く取り入れているので、学習したことを活用しようという態度を養えるようになっている。